

(別表1)

事業継続力強化支援計画

事業継続力強化支援事業の目標

I. 現状

(1) 地域の災害リスク

(洪水：ハザードマップ)

当町の防災ハザードマップによると、当会が立地する管内では、土場川流域の榎林小川向地区周辺において最大5m未満の浸水が予想されているほか、赤川流域の李沢・ニッ森地区周辺から坪川流域の榎林中田地区周辺の広範囲に亘って最大3m未満の浸水が予想されている。

(土砂災害：ハザードマップ)

当町の土砂災害ハザードマップによると、当会が立地する管内では、天間ダム周辺の山間部をはじめ10地区の広範囲に亘って約20ヶ所が土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)に指定されており、その周辺も土砂災害警戒区域(イエローゾーン)に指定されている。

(地震：J-SHIS)

地震ハザードステーションの確率論的地震動予測地図によると、30年間で震度6弱以上の地震に見舞われる確率については、上北自動車道七戸IC周辺とその北東方面の一部で26%以上、その他の地域は26%未満と想定されている。

(その他)

当地区における地震被害については、近隣地区と同様の被害に見舞われてきたが、洪水被害については数十年間大きな被害は無かった。

しかし、令和3年8月10日に台風9号から変わった温帯低気圧による大雨で、冠水の被害が発生したほか、天間林地区全域において8月11日から2,433世帯に断水が生じ、完全復旧された8月15日までの間、地区内商工業者は営業に支障をきたし、特に飲食関連業者については休業を余儀なくされるなど、多大な被害を被った。

(感染症)

新型インフルエンザは、10年から40年の周期で出現し、世界的に大きな流行を繰り返している。令和2年より世界的広がりを見せた新型コロナウイルス感染症については、長期間にわたる流行で日本中が打撃を受け、当町でもワクチン接種の推進の他、感染リスクの高いイベント等の中止や公共施設の利用制限等、国及び青森県の指針に沿った対策を講じている。

(2) 商工業者の状況

(令和3年4月1日現在)

| 業種 | 商工業者数 | 小規模事業者数 | 備考 |
|--------|-------|---------|----------------------|
| 建設業 | 51 | 49 | 地区内に広く分布し、国道4号周辺に多い。 |
| 製造業 | 20 | 17 | 地区内に広く分布し、国道4号周辺に多い。 |
| 卸売業 | 5 | 5 | 国道4号周辺の地区中心部に多い。 |
| 小売業 | 39 | 31 | 地区内に広く分布し、国道4号周辺に多い。 |
| 飲食・宿泊業 | 18 | 18 | 国道4号周辺の地区中心部に多い |
| サービス業 | 49 | 46 | 地区内に広く分布し、国道4号周辺に多い。 |
| その他 | 32 | 31 | 地区内に広く分布し、国道4号周辺に多い。 |
| 合計 | 214 | 197 | |

(出所：七戸町天間林商工会)

(3) これまでの取組

1) 当町の取組

- ・七戸町地域防災計画、七戸町業務継続計画、道の駅周辺防災拠点化計画の策定
- ・中部上北広域事業組合消防本部等と連携し総合防災訓練を実施
- ・防災備品等の備蓄
- ・七戸町新型インフルエンザ等対策行動計画の策定
- ・災害時における防災活動協力に関する協定の締結(各種団体等、七戸町天間林商工会含む)
- ・各種ハザードマップ等を策定しHP等で広く情報発信するなど、災害リスク等の情報提供および注意喚起

2) 当会の取組

- ・事業者BCPに関する国の施策の周知(パンフレット配布、セミナー情報周知)
- ・青森県火災共済協同組合、ジブラルタ生命保険(株)、東京海上日動火災保険(株)等と連携した損害保険への加入促進
- ・防災備品(スコップ、懐中電灯、医薬品等)を備蓄
- ・消防訓練の実施(年2回)
- ・災害時における防災活動協力に関する協定の締結(七戸町)

II. 課題

現状では火災に関する消防訓練のみ行っており、自然災害等も含めた多様化する災害への具体的な取組は行われていない。加えて、取組のノウハウを持った人員が充分確保されていない。

更には、保険・共済に対する十分な助言を行える職員も不足している。

また、感染症対策において、地区内小規模事業者に対して予防接種の推奨や手洗い等の対策徹底、体調不良者を出社させない等のルール作りや、感染拡大に備えたマスク・消毒液等の衛生用品の備蓄、リスク管理としての保険の必要性を周知することなどが必要である。

III. 目標

- ・地区内小規模事業者に対し、自然災害や感染症等のリスクを認識させ、事前対策の必要性を周知する。
- ・災害発生時や非常時における連絡と情報の収集を円滑に行うため、当会と当町との間における被害情報報告体制をあらかじめ構築しておく。
- ・災害発生後には速やかな応急・復興支援策が行われるよう、また域内における感染症発生時には速やかに感染拡大防止措置が行われるよう、組織内における体制や関係機関との連携体制を構築しておく。

※ その他

- ・上記内容に変更が生じた場合は、速やかに青森県へ報告する。

事業継続力強化支援事業の内容及び実施期間

(1) 事業継続力強化支援事業の実施期間（令和4年 4月 1日～令和9年 3月31日）

(2) 事業継続力強化支援事業の内容

- ・当会と当町の役割分担や体制を整理し、連携して以下の事業を実施する。

〈1. 事前の対策〉

- ・当町で策定されている「七戸町地域防災計画」「七戸町業務継続計画」「道の駅周辺防災拠点化計画」「新型インフルエンザ等対策行動計画」について、本計画との整合性を整理し、自然災害発生時や感染症発生時に速やかな応急対策等に取り組めるようにする。

1) 小規模事業者に対する災害リスクの周知

- ・地区内事業者への訪問時、ハザードマップ等を活用しながら事業所立地場所の自然災害等リスク及びその影響を軽減するための取組（什器の固定等）や対策（休業への備え、損害保険等加入、国や県の支援策活用等）について説明する。
- ・ホームページ等において、国の施策の紹介やリスク対策の必要性、損害保険等の概要について周知する。
- ・事業者BCPの策定による実効性のある取組の推進や、効果的な訓練等について支援及び助言を行う。
- ・事業継続の取組に関する専門家を招き、普及啓発セミナーや行政施策と損害保険の紹介等を実施する。
- ・新型コロナウイルス感染症は、いつでもどこでも発生する可能性があり、感染状況も日々変化するため、常に最新の正しい情報を入手し、デマに惑わされることなく冷静に対応できるよう周知する。
- ・新型コロナウイルス感染症に関しては、業種別ガイドラインに基づき感染拡大防止策等について周知を行うとともに、今後の感染症対策につながる支援を実施する。
- ・マスクや消毒液等の一定量の備蓄、オフィス内換気設備の設置、ITやテレワーク環境の整備等を実施するための支援策等の情報を提供する。

2) 商工会自身の事業継続計画の作成

- ・事業継続計画を令和3年作成。

3) 関係団体等との連携

- ・青森県商工会連合会と「小規模事業者等のリスクマネジメント支援に関する協定」を締結している東京海上日動火災保険㈱と連携し、BCP策定シート等を活用しながら専門家の派遣や普及啓発セミナーの開催、損害保険等の紹介を実施する。
- ・感染症に関しては、収束時期等が予測できないこともあり、リスクファイナンス対策として各種保険の紹介等も実施する。
- ・関係機関とセミナー等の共催事業や普及啓発ポスターの掲示依頼などを通じて連携を深める。

4) フォローアップ

- ・事業者BCP等取組状況の確認。
- ・〈仮称〉七戸町事業継続力強化支援推進協議会（構成員：七戸町商工会、当会、当町）を設立し、状況確認や改善点等について協議する。

5) 当該計画に係る訓練の実施

- ・自然災害（大規模地震等）が発生したと想定し、当町との連絡手段の確認等を行う（訓練は必要に応じて実施する）。
- ・訓練に先立ち、災害発生時の職員の役割分担を決めておく。
- ・訓練の結果を踏まえ、本計画の見直し等の参考にする。

〈2. 発災後の対策〉

- ・自然災害等発生時には、人命救助が第一であることは言うまでもないため、下記の手順で地区内の被害状況を把握し、関係機関へ連絡する。

1) 応急対策の実施可否の確認

- ・発災後3時間以内に職員の安否報告を行う。（SNS等を利用した安否確認や業務従事の可否、大まかな被害状況等を確認したうえで当会と当町で共有する）
- ・国内感染者発生後には、職員の体調確認を行うとともに、事業所内の消毒、職員の手洗いうがい等の徹底を図る。
- ・感染症流行や新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条に基づき、政府による「緊急事態宣言」が出た場合は、七戸町における感染症対策本部設置状況等を勘案して当会による感染症対策を行う。

2) 応急対策の方針決定

- ・当会と当町の間で、被害状況や被害規模に応じた応急対策の方針を決める。
（豪雨における例）

職員自身の判断で命の危険を感じる降雨状況の場合は、出勤せずに職員自身が先ず安全を確保したうえで自己の安否報告を速やかに行い、警報解除後に出勤する。

- ・青森県地域防災計画に基づき、当会では防災に関し概ね次の事務又は業務を処理するものとする。

ア 会員等の被害状況調査及び融資希望者の取りまとめ並びに斡旋等の協力に関すること

イ 災害時における物価安定についての協力に関すること

ウ 災害救助用物資、災害救助・復旧用資材の確保についての協力と斡旋に関すること

- ・職員全員が被災する等により応急対策ができない場合を想定した役割分担を決める。
- ・大まかな被害状況を確認し、発災後24時間以内に情報共有する。

（被害規模の目安は以下を想定）

| | |
|-----------|---|
| 大規模な被害がある | ・地区内の事業所で、「床上浸水」、「建物の全壊、半壊」等、大きな被害が発生している場合。 ・被害が見込まれる地域において、連絡が取れない若しくは交通網が遮断されており、状況確認ができない場合。 |
| 被害がある | ・地区内事業所で「瓦が飛ぶ」、「窓ガラスが割れる」等、比較的軽微な被害が発生している場合。 |
| ほぼ被害は無い | ・特に目立った被害の情報がない場合。 |

- ・本計画により、当会と当町は以下の間隔で被害情報等を共有することを原則とする。

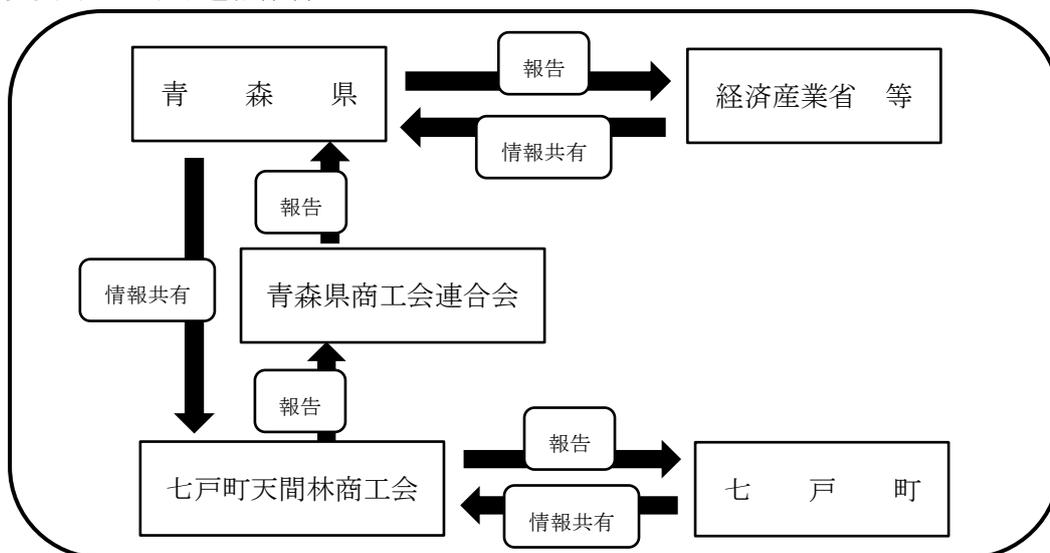
| | |
|----------|-----------------------|
| 発災後～1週間 | 1日に3回共有する（9時、13時、17時） |
| 1週間～2週間 | 1日に2回共有する（9時、17時） |
| 2週間～1ヶ月 | 1日に1回共有する（9時） |
| 1ヶ月～解除まで | 2日に1回共有する（9時） |

- ・当町で取りまとめた「七戸町新型インフルエンザ等対策行動計画」を踏まえ、必要な情報の把握と発信を行うとともに、交代勤務を導入する等の体制維持に向けた対策を実施する。

〈3. 発災時における指揮命令系統・連絡体制〉

- ・ 自然災害等発生時に、地区内の小規模事業者の被害情報の迅速な報告を行う。
- ・ 二次被害を防止するため、被災地域で活動する際の判断基準及び被害程度についてあらかじめ決めておく。
- ・ 当会と当町は被害状況の確認方法や被害額（合計、建物、設備、商品等）の算定方法について、あらかじめ確認しておく。
- ・ 当会と当町が共有した情報を青森県の指定する方法にて当会より青森県へ報告する。
- ・ 感染症流行の場合、国や県等からの情報や方針に基づき、当会と当町が共有した情報を青森県の指定する方法にて当会より青森県へ報告する。

※発災時における連絡体制



〈4. 応急対策時の地区内小規模事業者に対する支援〉

- ・ 相談窓口の開設方法について、七戸町と相談する（当会は、国の依頼を受けた場合に特別相談窓口を設置する）。
- ・ 安全性が確認された場所において、相談窓口を設置する。（設置場所候補：七戸町天間林商工会館、道の駅しちのへ道路・観光情報館。原則として七戸町天間林商工会館に設置。）
- ・ 地区内小規模事業者等の被害状況の詳細を確認する。
- ・ 応急時に有効な被災事業者施策（国や青森県、七戸町等の施策）について、地区内小規模事業者等へ周知する。
- ・ 感染症の場合、事業活動に影響を受ける又はその恐れがある小規模事業者を対象とした支援策や相談窓口の開設等を行う。

〈5. 地区内小規模事業者に対する復興支援〉

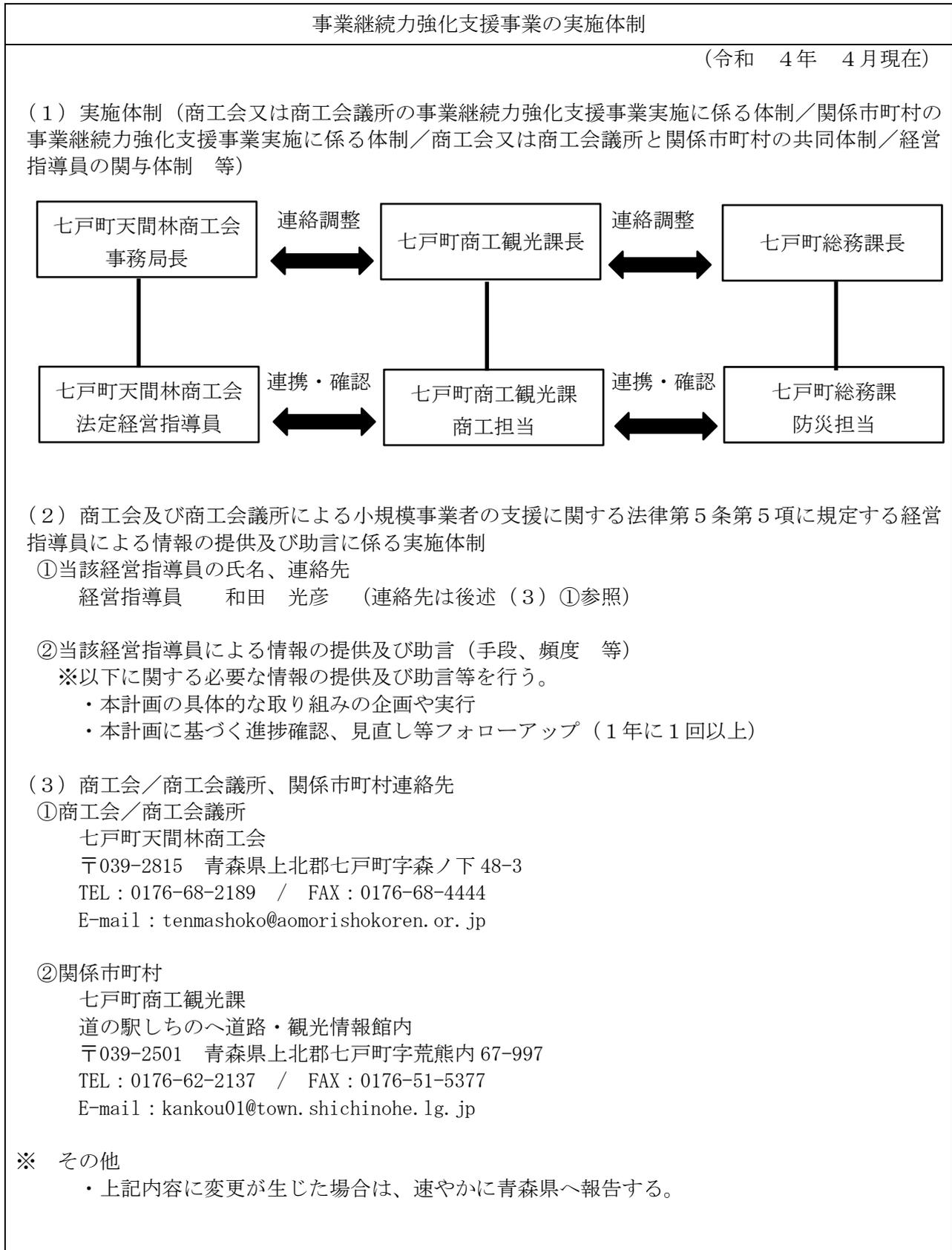
- ・ 青森県の方針に従って復旧・復興支援の方針を決め、被災小規模事業者に対し支援を行う。
- ・ 被害規模が大きく、被災地の職員だけでは対応が困難な場合は、他の地域からの応援派遣等を青森県並びに青森県商工会連合会等に相談する。

※ その他

- ・ 上記内容に変更が生じた場合は、速やかに青森県へ報告する。

(別表2)

事業継続力強化支援事業の実施体制



(別表3)

事業継続力強化支援事業の実施に必要な資金の額及びその調達方法

(単位 千円)

| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 必要な資金の額 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 |
| ・ 専門家派遣費 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| ・ 協議会運営費 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |
| ・ セミナー開催費 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |
| ・ パンフ、チラシ作製費 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |
| ・ 防災、感染症対策費 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |

(備考) 必要な資金の額については、見込み額を記載すること。

| 調達方法 |
|---------------------------|
| 会費収入、七戸町補助金、青森県補助金、事業収入 等 |

(備考) 調達方法については、想定される調達方法を記載すること。